

### (III) 培養基材

カゼインペプトン 【日本薬局方試験 準拠品】  
微生物培養基用

カゼインペプトン  
微生物培養基用

## ハイポリペプトン「塩谷」

HIPOLYPEPTON  
》 SHIOTANI 《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】 393-02265 (500 g)  
399-02267 (15 kg)

### 製品特長 (従来品比較)

- ・日本薬局方試験に準拠した製品
- ・ハイポリペプトンと比較し溶解性に優れている
- ・日本国内製造
- ・安定供給

### 概要

ハイポリペプトン「塩谷」は、牛乳カゼイン（ニュージーランド産：BSE非発生源）を酵素分解後、精製し、乾燥したペプトンで、日本薬局方試験に準拠した製品である。安定供給の観点から日本国内で製造している。水に溶けやすく、エタノールまたはエーテルに溶けない。

### 規格値

総窒素	11%以上
アミノ酸窒素（バンスライク法）	5～7%
強熱残分	10%以下
乾燥減量	6%以下

### 用途

- ・日本薬局方及び生物学的製剤基準に記載されている無菌試験用培地の窒素源として最適である。また、衛生試験法における飲料水及び食品衛生検査指針中の微生物試験用培地に使用可能。
- ・トリプトファンを多量に含有しているため、インドール産生試験に使用すると良好な結果が得られる。
- ・カゼイン酵素分解ペプトンを必要とするDubos & Middlebrookの結核菌培養、その他各種微生物培養の培地に利用可能。

### 注意事項

本品は吸湿性があるので、包装形態に合わせて固く密栓又は密閉すること。室温保存。

### 参考文献

- 1) 坂崎利一他：新細菌培地学講座・上（第2版）。培地素材 P115,1986. 近代出版。
- 2) 生物学的製剤基準：一般試験法、2004
- 3) 日本食品衛生協会：食品衛生検査指針、微生物編、2004。
- 4) 水野伝一他：薬局10(8),921,1959。ペプトン・肉エキス・寒天。
- 5) 水野伝一他：日本細菌学雑誌15(1),114,1960。培地素材成分の諸問題。
- 6) R.J.Dubos et al:Am.Rev.Tuber.,56, 334, 1947。Media for tubercle bacilli.
- 7) 外村健三他：日本醗酵協会誌21(4),129,1963。麴菌の菌体内 $\alpha$ -Amylase について。  
(II) 隣ペプチッドによる $\alpha$ -アミラーゼの離脱促進作用。
- 8) 山本昭夫他：日本細菌学雑誌24(8), 359,1969。破傷風トキソイドの副作用に関する研究 (I) 培地基材の毒素産生促進効果と感作原性。

## ハイポリペプトン

HIPOLYPEPTON

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】 390-02116 (500 g)

### 概要

ハイポリペプトンは、牛乳カゼイン（ニュージーランド産：BSE非発生源）を酵素分解後、精製し、乾燥した製品である。水に溶けやすく、エタノールまたはエーテルに溶けない。

### 規格値

総窒素	11%以上
アミノ酸窒素（バンスライク法）	5～7%
強熱残分	10%以下
乾燥減量	6%以下

### 用途

- ・日本薬局方及び生物学的製剤基準に記載されている無菌試験用培地の窒素源として最適である。また、衛生試験法における飲料水及び食品衛生検査指針中の微生物試験用培地に使用可能。
- ・トリプトファンを多量に含有しているため、インドール産生試験に使用すると良好な結果が得られる。
- ・カゼイン酵素分解ペプトンを必要とするDubos & Middlebrookの結核菌培養、その他各種微生物培養の培地に利用可能。

### 注意事項

本品は吸湿性があるので、包装形態に合わせて固く密栓又は密閉すること。室温保存。

### 参考文献

- 1) 坂崎利一他：新細菌培地学講座・上（第2版）。培地素材 P115,1986. 近代出版。
- 2) 生物学的製剤基準：一般試験法、2004
- 3) 日本食品衛生協会：食品衛生検査指針、微生物編、2004。
- 4) 水野伝一他：薬局10(8),921,1959。ペプトン・肉エキス・寒天。
- 5) 水野伝一他：日本細菌学雑誌15(1),114,1960。培地素材成分の諸問題。
- 6) R.J.Dubos et al:Am.Rev.Tuber.,56, 334, 1947。Media for tubercle bacilli.
- 7) 外村健三他：日本醗酵協会誌21(4),129,1963。麴菌の菌体内 $\alpha$ -Amylase について。  
(II) 隣ペプチッドによる $\alpha$ -アミラーゼの離脱促進作用。
- 8) 山本昭夫他：日本細菌学雑誌24(8), 359,1969。破傷風トキソイドの副作用に関する研究 (I) 培地基材の毒素産生促進効果と感作原性。

### 〔Ⅲ〕 培養基材

大豆ペプトン

微生物培養基用

大豆ペプトン【ハラル・コーシャ認定工場製造】

微生物培養基用

## ハイポリペプトンS

### HIPOLYPEPTON S

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】 398-02173 (300 g)  
398-02178 (10 kg)

#### 概要

本品は、植物性ペプトンで、脱脂大豆を酵素分解後精製し、乾燥した粉末で、水に溶けやすく、エタノールまたはエーテルに溶けない。

#### 規格値

総窒素	7%以上
アミノ酸窒素（バンスライク法）	3～5%
強熱残分	23%以下
乾燥減量	6%以下

#### 用途

- ・ハイポリペプトン「塩谷」及びハイポリペプトンの性能を補足するときに用いる。
- ・微生物の培養に広く利用され、医真菌、植物病原真菌、サルモネラ、ナイセリア、クロストリジウム等の発育困難な菌の培養に適している。

#### 注意事項

本品は吸湿性があるので、包装形態に合わせ固く密栓又は密閉すること。室温保存。

#### 参考文献

- 1) 坂崎利一他：新細菌培地学講座・上（第2版），培地素材 P115,1986. 近代出版。

## ハイポリペプトンN

### HIPOLYPEPTON N

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】 397-02121 (300 g)  
395-02127 (10 kg)

#### 概要

本品は、植物性ペプトンで、大豆精製物を微生物由来酵素で分解後精製し、乾燥した粉末で、性能はハイポリペプトン「塩谷」及びハイポリペプトンと同等である。

※ ハラル・コーシャ認定対応製品は10 kgのみ

#### 規格値

総窒素	12%以上
アミノ酸窒素（バンスライク法）	5～7%
強熱残分	15%以下
乾燥減量	6%以下

#### 用途

非動物性ペプトンで用途はハイポリペプトン「塩谷」及びハイポリペプトンと同様である。

#### 注意事項

本品は吸湿性があるので、包装形態に合わせ固く密栓又は密閉すること。室温保存。

### (III) 培養基材

大豆ペプトン【ハラル・コーシャ認定工場製造】  
微生物培養基用

ペプトン（酸分解物）

微生物培養基用

## ハイポリペプトンNS

HIPOLYPEPTON NS

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】 393-02101 (300 g)  
391-02107 (10 kg)

### 概要

本品は、植物性ペプトンで、脱脂大豆を微生物由来酵素で分解後精製し、乾燥した粉末で、性能はハイポリペプトンSと同等である。

※ ハラル・コーシャ認定対応製品は20 kg特注品のみ

### 規格値

総窒素	7%以上
アミノ酸窒素（バンスライク法）	3～5%
強熱残分	23%以下
乾燥減量	9%以下

### 用途

非動物性ペプトンで用途はハイポリペプトンSと同様である。

### 注意事項

本品は吸湿性があるので、包装形態に合わせ固く密栓又は密閉すること。  
室温保存。

## ハイカザミノ酸「ダイゴ」

HICASAMINO ACIDS

》 DAIGO 《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】 393-02145 (500 g)  
399-02147 (10 kg)

### 概要

本品は牛乳カゼインの酸分解物でたん白質はほとんどアミノ酸にまで分解されており、たん白質以外の栄養源または発育因子はほとんど含まない。そのため細菌生理学、同遺伝学などの基礎的分野に使用する培地の純窒素源として、あるいはビタミン（とくにB12）の定量用培地における窒素源として用いられ、またミュラー・ヒントン培地のように酵素消化ペプトンの使用が好ましくない培地への栄養源として利用されている。

### 規格値

総窒素	7%以上
アミノ酸窒素（バンスライク法）	54～83%
強熱残分	52%以下
乾燥減量	8%以下
塩化物（NaCl）	28～40%
pH	6～7

### 注意事項

本品は吸湿性があるので、包装形態に合わせ固く密栓又は密閉すること。  
室温保存。

### 参考文献

- 1) 坂崎利一他：新細菌培地学講座・上（第2版），  
培地素材 P115,1986. 近代出版。

### 〔Ⅲ〕 培養基材

酵母エキス

微生物培養基用

## 粉末酵母エキスD-3H

DRIED YEAST EXTRACT D-3H

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】 398-02151 (250 g)  
396-02157 (10 kg)

### 概要

本品は、酵母の水溶性成分を独自の自己消化法により抽出し、乾燥した淡褐色の粉末で、ビタミン群、各種ミネラル類等を含有している。

### 規格値

総窒素	10%以上
アミノ酸窒素（バンスライク法）	5%以上
強熱残分	15%以下
乾燥減量	8%以下

### 用途

- ・無菌試験用チオグリコール酸培地に発育要素として使用する。
- ・Bioassayに用いる乳酸菌類の培養に適している。
- ・牛乳製品あるいは食品の微生物検査用培地に使用する。
- ・抗生物質発酵等の培養基材に適している。

### 注意事項

本品は吸湿性があるので、包装形態に合わせて固く密栓又は密閉すること。室温保存。

### 参考文献

- 1) 坂崎利一他：新細菌培地学講座・上（第2版），培地素材 P115,1986. 近代出版。

酵母エキス

微生物培養基用

## 粉末酵母エキスFH

DRIED YEAST EXTRACT FH

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】 393-02167 (10 kg)

### 概要

本品は、酵母の水溶性成分を独自の自己消化法により抽出し、乾燥した淡褐色の粉末で、ビタミン群、各種ミネラル類等を含有している。

### 規格値

総窒素	10%以上
強熱残分	15%以下
乾燥減量	6%以下
pH	5~6

### 用途

- ・無菌試験用チオグリコール酸培地に発育要素として使用する。
- ・Bioassayに用いる乳酸菌類の培養に適している。
- ・牛乳製品あるいは食品の微生物検査用培地に使用する。
- ・抗生物質発酵等の培養基材に適している。

### 注意事項

本品は吸湿性があるので、固く密閉すること。室温保存。